

BMS 10月例会のご案内

—130th Bungeiken Metropolis Seminar—

 2026年10月4日(日)9時30分～12時30分

 大東文化会館 404研修室 東上線「東武練馬」駅より歩4分。

オンライン参加可

テーマ:11月説明文教材の授業のポイント

いい説明文の条件とは何か。また説明文指導の目的は何か——文芸研の説明文指導では、説得の論法を手がかりに、認識方法を駆使して、深い認識内容に迫ることをめざします。「しっぽのやくめ」で低学年での説明文指導のポイントを考えます。「すがたをかえる大豆」「固有種が教えてくれること」「鳥獣戯画を読む」も併せて説明文における説得の論法を学ぶ・認識方法（ものの見方・考え方）の力を育てる・読解をこえて認識内容の獲得——三位一体の深い学びの成立を追究します。皆様の参加をお待ちしております。

①「しっぽのやくめ」(川田健 光村図書ライブラリー第5巻)

②「すがたをかえる大豆」(国分牧衛 光村図書3年)

③「鳥獣戯画を読む」(高畑勲 光村図書6年)

報告・資料提供:上西信夫(東京文芸研 元千葉県小学校)

④「固有種が教えてくれること」(今泉忠明 光村図書5年)

報告:西真由子(東京文芸研 湘南学園小学校)

 **参加申込** (ハイブリッド方式)リアル参加は先着40名とさせていただきます。

申し込みについては、リアル参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。リアル参加・オンライン参加とも500円

参加申し込みは <https://bms202610-bungei-tokyo.peatix.com/> から

(一週間前には申し込みができるように準備をします。)

【文芸研東京学習会(BMS)連絡先】上西信夫  →nobu.uenishi@outlook.jp

次頁  信天翁通信 ↓



国語やバイよ！～ものの見方・考え方を育てる国語の授業～ 2026/09/09 アホウドリ 信天翁記

東京文芸研学習会(BMS10月例会)のご案内

—130th Bungeiken Metropolis Seminar—



📷愛知県半田市矢勝川の彼岸花 🦊「ごんの秋まつり」9./26～10./4 矢勝川堤・新美南吉記念館周辺
 どんぎつねも通ったはずの燃えあがるようにヒガンバナ咲く（愛知／中村桃子）

🍇一か月前の猛暑が嘘のように秋雨前線が停滞し、雨模様の9月6日（日）、BMS9月例会を大東文化会館＋オンラインで開催しました。

報告①山中吾郎さん（東京文芸研 大東文化大）による「わにのおじいさんのたからもの」（川崎祥 教出2年・東書3年）の提案。最後の場面のドラマチックな大どんでん返しのおもしろさとそこから立ち上がる「本物のたからものとは何か？」という深い問い。おにの子の一貫して変わらぬ他者への眼差し、困難に立ち向かい、自然の美しさに帽子をとる姿（おにの子の真実）こそ〈たからもの〉ではないかというまともに参加者は納得の様子。文芸における美と真実とは何か——そのことを視野に入れた提案でした。

報告②「どんぎつね」（新美南吉 光村他4年）の授業化のポイントを上西が提案。文芸を読むということは形象の相関性・全一性をおさえ、その具体化・個別化・表象化→抽象化・概念化をおこないつつ、文芸的体験・認識をつくりあげることが強調されました。

報告③は**洵江正仁**さん（東京文芸研 明星学園小学校）による「**やまなし**」（宮沢賢治 光村 6 年）の提案。一昨年の明星学園公開研や昨年の千葉大会での公開授業・シンポジウム提案をベースに、今年の 6 年生に賢治の「二相ゆらぎ」の世界観・人間観に出会わせるべく、イメージ体験を重視することを構想した提案でした。

 10 月例会テーマは、11 月説明文教材の授業のポイントとし、「**しっぽのやくめ**」（川田健文 藪内正幸絵 光村図書ライブラリー⑤）、「**すがたをかえる大豆**」（国分牧衛 光村 3 年）、「**固有種が教えてくれること**」（今泉忠明 光村 5 年）、「**鳥獣戯画を読む**」（高畑勲 光村 6 年）を取り上げ、文芸研の説明文指導の目的——説得の論法を手がかりに、認識方法を駆使して、深い認識内容に迫る学習の機会になると考えています。

10 月例会も大東文化会館にてハイブリッド方式で行いますが、リアル参加は**先着 40 名**とさせていただきます。申し込みについては、リアル参加の方もオンライン参加の方も下記ピーティックスからの申し込みをお願いします。皆様の参加をお待ちしています。

記

1. 期 日 2026 年 **10 月 4 日**（日）9 時 30 分～12 時 30 分

2. 会 場 大東文化会館 404 研修室

（東武東上線「池袋」駅より各駅停車で 15 分、「東武練馬」駅下車歩 4 分

ハイブリッド方式 **オンライン参加可**

3. 内 容 テーマ：11 月説明文教材の授業のポイント

報告①：「**しっぽのやくめ**」（川田健文 藪内正幸絵 光村図書ライブラリー⑤）

：「**すがたをかえる大豆**」（国分牧衛 光村 3 年）

：「**鳥獣戯画を読む**」（高畑勲 光村 6 年）

報告・資料提供：**上西信夫**（東京文芸研 元千葉県小学校）

報告②：「**固有種が教えてくれること**」（今泉忠明 光村 5 年）

報告：**西真由子**さん（東京文芸研 湘南学園小学校）

4. 主催・参加費・申し込み 東京文芸研／リアル参加・オンライン参加とも 500 円

参加申し込みは <https://bms202610-bungei-tokyo.peatix.com/> から

（一週間前には申し込みができるように準備をします。問い合わせ 事務局・西さん）

以上

🍇 例会後、例会で扱う教材以外の個別の相談にも応じています。事前に連絡をください。カンとセンスとブームの国語の授業からの脱却、教科書会社の指導書・赤刷り・ワークシートに頼らない授業構想力の獲得—視点・形象の相関をふまえた切実な共体験の形成、文芸体験の思想化・典型化の授業づくりをめざします。23 年夏の山口大会、24 年の徳島大会、25 年の千葉大会、今夏の大阪大会、各地の「国語の教室」、講座で初めて文芸研の理論と実践に接し興味をもたれた方、国語の授業づくりに困っている方、深い学びを願っている方、教職をめざしている方、元青年学校受講生の方、各地のサークル例会が開催困難なサークル会員の方々……の参加をお待ちしています。

インフォメーション

▼今年度後半の BMS 例会予定（原則第 1 日曜日）9 時 30 分～12 時 30 分 大東文化会館（最寄り駅「東武練馬」駅歩 4 分）

- ・10 月 4 日（日）大東文化会館 404 研修室
- ・11 月 1 日（日）大東文化会館 404
- ・12 月 6 日（日）大東文化会館 401
- ・1 月 10 日（日）大東文化会館 401
- ・2 月 14 日（日）大東文化会館 404
- ・3 月 7 日（日）大東文化会館 404

※期日・会場は予定です。直前の HP 掲載の BMS 例会案内で確かめてください。

▽「文芸教育」（西郷竹彦創刊・文芸研編・新読書社刊）139 号 最新刊好評発売中
特集「『こなす』だけの授業をのりこえる一真に深い学びを求めて—」／各号 1700 円＋税 バックナンバーあります。年間購読をお願いします。

▽光村版・新教科書指導ハンドブック（学年別）発売中／新読書社より各学年 1700 円＋税 セット割引有／この学年でどんな〈ものの見方・考え方〉を育てるかの観点で編集
▽文芸研授業シリーズ好評刊行中！ 第 1 弾「たぬきの糸車」（新読書社）・第 2 弾「一つの花」・第 3 弾「おおきなかぶ」・第 4 弾「わらぐつの中の神様」・第 5 弾新刊「サーカスのライオン」／教材分析と授業構想・授業記録がこの一冊に。板書や発問が参考にできて、使いやすい・わかりやすいと好評。入門書として最適です。各 1000 円＋税



2026 中秋の名月は 9 月 25 日（金）実際の満（望）月は 27 日（日）深夜 1 時 49 分とのこと（国立天文台）



文芸研の授業シリーズ
明治図書刊



文芸研授業シリーズ 新読書社刊 「文芸教育」新読書社刊 1700 円
1000 円



BMS 会場案内



板橋キャンパスと間違えないでね



大東文化会館へのアクセス：池袋駅より東武東上線各停で7 駅（約 15 分）、東武練馬駅（大東文化大学前）下車。どの出口からも徒歩 2～4 分／学習会会場は K404・401 研修室（40 人収容）、9 時から 13 時まで借りています。（山中吾郎さんに尽力いただき、3 月7 日（日）まで予約済み。今から予定に入れてください。エデュカス東京（麹町）より大東文化会館までの所要

時間がかかる方もいると思いますが、学習会充実のため引き続き現地参加にご協力ください。

「朝日歌壇・俳壇」より 子ども・学校・ことば・世相・戦争を詠む

次降りますボタンを小さい子に譲るわたし大人になった初夏（はつなつ）（奈良／山添葵）

身体を測定される列にいて前の子のいた床あたたかい（豊中／根尾寛）

母はとても手先が器用それなのに断ることがとても不器用（富山／松田わこ）

初対面なのに全裸の第一子 なんにも持たずに生まれてくるのね（高松／藤原貴美子）

あめんぼうの銀の水輪は音もなく重なりあえり亡き娘の影に（市川／山崎蓉子） 自死された娘さんの歌が続く

子育ては大変だろうと分かる日々眼鏡かけたまま眠る妻（始良／井之川健児）

両腕に双子抱えて歩くパパ左右交互に話して笑って（東京都／長倉美枝子）

娘婿が七人乗りの車買い、孫が家族七人の席を決める（稲沢／山田真人）投稿氏夫婦+娘夫婦+孫3人

授業中「天網恢恢（てんもうかいかい）」板書する戦続ける誰彼思っ（朝霞／青垣進）天網恢恢疎にして漏らさず—悪事を行えば必ず天罰が下る（老子—天網恢恢、疎而不失）〈誰彼〉とはブ氏、ネ氏、ト氏…のこと

美辞麗句中学生に教ふるに好き例ならむ「骨太の方針」（東京都／上田国博）

被災して炊出しカレー食べている熊本の子らの笑顔が救い（札幌／佐久間優子）

ぼくがねえ大きくなったらばあちゃんをおんぶするよと背（せな）で言う孫（東京都／村上ちえ子）

正解のなき世へ放つ学校は正解だけを子らに競わす（春日／杉山辰男）

「らしくない自分になる」と夢語る君がまぶしい高三の夏（厚木／杉山久美子）

不慣れではございますがと席に着く議長選出シナリオ通りに（福岡／品川八千代）渦中の県祖父は耐え祖母は号泣せしと聞く三十四歳戦死の叔父に（前橋／萩原葉月）

30度はちょっと暑くて32度はすごーく暑かった昭和の夏は（小金井／武石文子）すごーくわかる。夏日→真夏日→猛暑日→酷暑日と10℃も高くなったのだ。45℃超えたら…灼熱日？

地図帳に「北島」「仏印」「北支」なく碑の戦没地調べが続く（つくば／石上徳千代）

アメリカは何処へ向かうか二百五十年移民の国が移民を拒否する（静岡／名田幸一）

まずは4 数分後にはI、V、X、男の脚は本当に自由（枚方／坊真由美）男の脚の組み方百態。女には許されていないと評。〈まずは4〉は猪木の4の字固めの脚ポーズ

ペットボトルで育ったカニは悲しんだすべてが見えて何もさわれず（東京都／浅倉修）カニは現代を生きる私たちだ

巢の縁にあぎとを乗せて燕の子つまらさそうに親を待ちおり（下関／内田恒生）あぎと：顎の古語推古から始まり女性天皇は十代なりき見よ高市首相（横浜／松村千津子）

初代なる女性首相が期待されし女性天皇の途（みち）を閉ざせり（東京都／北條忠政）

明け切らぬ梅雨空のごと鬱々とイラン合意はまた覆（くつがえ）る（五所川原／戸沢大二郎）

人の持つスマホが人から奪いいる時間の長ささと重さと尊さ（観音寺／篠原俊則）

冷房なき札幌の地下鉄のホームに初のスポットクーラー（札幌／田巻成男）

街路樹から湧き上がるやうにマンションの上層階にとどく蟬声（西宮／谷口澄）

八月や地球人みな杖を突き（福岡／釋鯛硯）ステッキ+キャリーバック、ヨタヨタ、ガラガラ
存（ながら）へて今日も明るし屑（くず）金魚（西宮／古山丈司）金魚すくいの屑金魚は長生きだ
予定なきことが予定や大昼寝（広島／谷脇篤）季語は昼寝。三尺寝大きな山を引き寄せて（黛執）
水を配る隊員の顔を配られる人が団扇であおぐ被災地（日立／加藤宙）7月28日震度7の再度
の熊本地震

「避難所」と呼べば異常に気が付くかエアコンのない「体育館」に（柏／伊藤智紗）
本好きの意地を感じる絶やすまいと本屋のあとに本屋ができて（東京都／白川清）
全員が同じ方向を見る怖さ向日葵畑にたじろいでいる（佐伯／川西敦子）〈人がみな／同じ方角に
向いて行く／それを横より見ている心〉（啄木「悲しき玩具」）

アスファルト敷く人は皆ふくらんだジャケット着つつ少し溶けている（和歌山／植田陽子）
アイドルを照らししライト片づける黒衣の女性黙々として（高松／中村将人）
暑き夏忘れてはならない「四つの日」我はひもじさ空襲に耐えた（豊田／近藤敬二）6.23 8.6
8.9 8.15

故郷を戦場にされた安青錦それでもめげず賜杯（しはい）勝ち取る（徳島県／一宮一郎）
毎日が朝令暮改の外（と）つ国の為政者たちの戦争ごっこ（尾張旭／小野薫）

「終わらんな」洗濯終えたはずなのにポツリと夫が言う戦争を（尾張旭／疇うね地久美）
癌病むと連絡絶えし友垣に一筆せむか七月二三日（ふみづきふみのひ）（東京都／上田国博）
天皇が女性であってなぜ悪い居酒屋談義は庶民の本音（横浜／島巡陽一）
あきれてはいられぬ「皇統二千六百年」本気で語る議員に（岡崎／兼松正直）男系男子に
拘泥するのも同じ輩

支持率が下がると「栄誉賞」与ふ町には削（けず）り氷（ひ）が涼やかに（京都／森谷弘志）安
倍政権からの常套手段で、そのことを見抜いている庶民は冷やか。高木美帆さんに罪はないが、福本豊・イチロー・大
谷翔平、古関裕而ら辞退した人も

神様の計らい楽し笑顔なる赤ちゃんヤマルと二十歳（はたち）のメッシ（仙台／沼沢修）ワー
ルドカップで話題に

コンセント抜かれぬやうにA Iも相手見ながら言葉を選ぶ（相馬／根岸浩一）
申し込みは二次元コードでと広報にそれでは参加諦める人も（長久手／佐藤昌江）
子は魚に時々戻る水遊び（相模原／井上裕実）

戦争は大きな枢（ひつぎ）八月来（く）（横浜／田中清春）

八月や昭和を思ふ一分間（大津／小見伸雄）

それなりのセーフティネットのある国で年に二万の自死は切ない（東大阪／池中健一）
庄内の米どころにて生まれたるに名は「田美子」なりと笑くぼ見せる人（神奈川県／富田茂子）
お祭りの寄付を求めて衣装着た子らが微笑む古里の夏（八戸／八木田恵子）田美子さんに田恵子
さん、稲穂が揺れるような笑顔が似合う

特攻の悲劇を学んだ娘は悼み知覧茶買いてわれに持ち来る（長野／関龍夫）
飲み会は二回に一回断るがガザ地区の子に寄付する友は（仙台／沼沢修）

心だけせめて並んでいたい今 熊本アンテナショップの列に（東京都／西出和代）数寄屋橋近くのアンテナショップ熊本館に行列

ミサイルの配備はあれど避難所にクーラーはなし熊本地震（北九州／福吉真知子）
災害にひとたび遭えば雑魚（ぎこ）として扱われるらしこの国の今（善通寺／安藤千代）クーラーのないプライバシー保護のない体育館で雑魚寝するしかないのだ

恋人が恋人に「え？」と聞きかえす夜の電車のやわらかな場所（和泉／星田美紀）

0・1秒 体で感じる者どうし陸上選手とアナウンサーと（東京都／上田結香）

亡き父の古き日記に書かれおり「わが誕生日誰も気づかず」（橋本／秋月晶江）

八月の光はつよく隣町で「大絶滅展」意味深（いみしん）に開かる（京都／森谷弘志）大阪市立自然史博物館で開催中の「大絶滅展—生命誌のビッグファイブ」。酷暑・山火事・渇水・豪雨・洪水・地震が続き意味深
夏草の熊本をまた揺らすかな（新宿区／各務雅憲）

沖にまだ未来はありや草田男忌（延岡／金丸浩樹）〈玫瑰（はまなす）や今も沖には未来あり〉中村草田男忌 8月5日

アホウドリ 信天翁の身辺雑感

🌸 8月13日夕方から夜中にかけての千葉県短時間集中豪雨。死者13名、2000台以上の車が放置されたと聞く。千葉文芸研や東京文芸研の面々に安否確認・お見舞いのメールを送る。秋山さんから千葉文芸研メンバーは全員無事確認との返信。ひとまずは休心。

🌸 「この原田直友の『村の人口』の詩の虚構の方法は何か？」「正確には数えられない鳥や魚やもぐらの数をあたかも数えたかのようにもっともらしく語り、〈～にゃ〉とふざけたような語り口調の話体。しかし、この詩の思想は“山川草木悉皆成仏”の東洋思想、ディープエコロジーの考え方だ。（但馬の高橋さん何か言いたそうですねと高橋さんに目配せをして笑う）深い思想をおもしろく軽妙に語るところにこの詩の美がある」「詩の真ん中に〈虫〉を配し、終行に数詞がついていないことが虚構の方法だ。話体と文体の関係をふまえ、止揚統合した作品である…（会場からホ～！という嘆息）」壇上で足を踏ん張って西郷先生の受け売りの解釈をそのまま得々と述べている。その途端右足ふくらはぎに激痛が走り覚醒する。こぶら返り（足が攣ることを私の田舎ではこう呼んでいた）だ。猛暑の夏、よく起こり夜中に目が覚める。加齢現象のひとつだ。

🌸 喜寿を祝っての同窓会案内が小中と高校の両方から届いた。小・中学校の幹事はK君。地元高野山で大きな豆腐店を経営していたが、教育長の任に就いているという。昔から実直な善いヤツだった。キャッチャーとして私の荒れ球を受けてくれたこともある。懐かしくなあって息子が継いだK豆腐店の真空パック胡麻豆腐を吉祥寺東急百貨店で求めて、故里の味を冷やして山葵を添えて食する。高校の方の代表幹事はI君。大手飲料メーカーの社長を務めたという。花は買ってこなかったが、「友がみなわれよりえらく見ゆる日よ…」だ。

🌸 暑き夏忘れてならない「四つの日」我はひもじさ空襲に耐えた（豊田市 近藤敬二 「朝日歌壇」8.23）「四つの日」はもちろん6.23、8.6、8.9、8.15のこと。「四つの日」での高

市首相および高市内閣の面々の対応、とりわけ「ことば」のぞんざいな扱いに唖然としていたところ、8月21日付朝日新聞読書欄に南野森氏（九大教授・憲法学）の「売れている本」に「井上ひさしの 子どもにつたえる日本国憲法 いわさきちひろ絵」（33刷 19万3千部／06年刊 講談社）の書評が載っていて、手元の本を改めて読み直した。9条の精神を〈どんなもめごととも 筋道をたどってよく考えて ことばの力をつくせば かならずしずまると信じるからである〉とし、〈よく考えぬかれたことばこそ 私たちのほんとうの力なのだ〉と説く。ことばの力は憲法の平和主義を実現するためにこそ求められるのだ。〈ことばで人間の真実やものごとの本質を認識し表現する力を育てる〉——文芸研が唱える国語科教育の目的と共鳴するではないか。第2次世界大戦のあと、あんな惨たらしく苦しい悲しい大戦争はもうごめんだ、人間はもっと賢く生きられるはずじゃないのか——これが世界の人々の切なる想いであり、痛切な願いであった。団塊世代の私は、義足義手の身に白衣を纏いアコーディオンを弾き物乞いする傷痍軍人や引き揚げ開拓団の人々の記憶がかろうじて残っている。その反省に立って世界の人々（特にアジアの人々）に不戦と平和国家建設を約束したのが日本国憲法の前文であり9条である。文芸研の教育の目的——自己と自己をとりまく世界をよりよく変革する主体に育てることと同義であり、憲法前文や9条の理想に現実を近づける不断の努力をしていく覚悟を世界中に宣言したものであり、私たちはその隊列にいる。軍事大国の帝国主義的横暴に黙して追従し、法の支配を「お花畑」と揶揄することなど許されることはありません！（このフレーズは杉下右京風に小刻みに顔を震わせながら）ましてや先の戦争を「反省なんかしておりません」と言い放つ高市早苗は論外だ。

 ロシアのウクライナへの侵攻、イスラエルのガザ侵攻、アメリカのベネズエラ、イラン侵攻と子どもたちもその現実を見せつけられ、ヒトが争うのは生き物としての本能だから、戦争はなくなれないというベシミスティックな俗論に染まらないかずっと憂慮している。そんな心配を打ち消す絵本が6月に出版された。山極寿一文・あべ弘士絵による「ぼくたちは、あらそうために生きるのか？」（偕成社 2026.6.1 初版／7月にはもう重版され3刷）。山極寿一さんがゴリラ研究から導いたヒトの本性——相手の気持ちを思いやる共感力・利他性こそが弱いヒトという種が生き延びてこられた源だと断言する。山極さんがいろんなところで話したり、書いたりしてきたことを子どもの読者にもわかりやすく、それでいて質は落とさず薄めず語りかける。戦争の歴史は農業が始まった同時期 1万2千年前からで、ヒトになって始まる 700 万年の歩みを考えると 1%にも満たない。暴力で相手を支配することが、ヒトの本性だとは言えないという結論は説得力がある。歌ったり踊ったり身体を共鳴し合うコミュニケーションの能力と親密さの確認、サルは食べ物を独り占めするため向き合って食べないがゴリラは向き合って食べ分け合う智恵、ヒトの赤ちゃんが他の動物の赤ちゃんよりも泣くわけ、ヒトだけが持つ赤面することの意味、目の中に白目の部分がある進化の意味等々。一緒にご飯を食べ、いっしょに歌ったり、踊ったり、スポーツしたりすれば、ことばがなくても気持ちがわかり合える。（あまんきみこ「きつねのおきゃくさま」の〈きつね〉の変革の要因）そんな当たり前のことが実は、生命の進化の中でヒトが手に入れ

た大事な宝だという。出会った人と人がつながって、そのつながりが、また新しいつながりを生み出す世界。そんなふうに共感の輪をひろげることは、難しいことではない。文芸教育で育てたい想像力（共感力）の大切さの意味を山極さんはこの絵本で語っている。

🌸 8月26日朝日新聞朝刊社説・声欄頁下段で「川柳がたり」が載っていた。良質の記事で感心した。以前明星学園小学校の松園悠介さん（東京文芸研）から取材を受けたことは聞いていたので、明星での取材記事が出るのを心待ちにしていると、翌27日その記事が載った。

BMS7月例会での松園さんの報告通りの内容であった。その日の「朝日川柳」には、——
支えるか外すか迷う梯子かな（埼玉県 本間正美）1・2句 ICC 赤羽所長支持か米追従か
しばらくはハーグとハグのせめぎ合い（群馬県 野上正昭）ICC 本部のあるハーグと媚態外交
法の支配「お花畑」と追いやられ（神奈川県 平野郁子）
漫才じゃないのが怖いトランプは（兵庫県 河野敦）

「かたえくぼ」欄 アメリカ湖へ名称変更検討のニュースを受けて
トランプ湖よりマシだが——オンタリオ湖（千葉・のだっち）

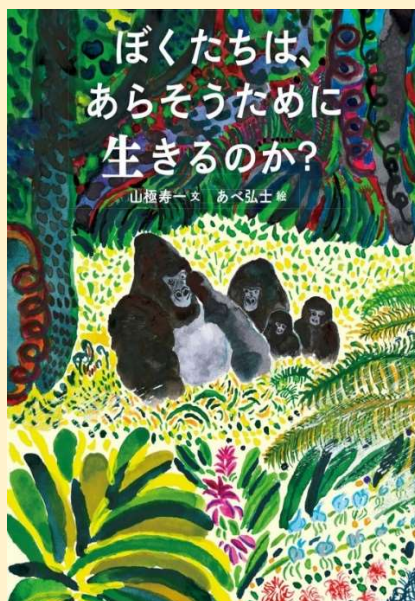
ちょうど27日午後からは明星学園小学校の国語研究会があり、そこで新聞記事のことが話題になる。松園さんの実践は、取り合わせ俳句——異質なものの止揚統合——関連化への橋渡しとなるものであることを確認した。

🌸 同日の朝日新聞朝刊に、26年10月1日から改正労働施策総合推進法の施行に伴う学校の「カスハラ」対策記事が載っていた。「担任を代えろ」「クラス替えをしろ」「高圧的に自らの要求を主張する」「同様の質問を執拗に繰り返し、文書などで回答を強要する」「SNSに悪評を投稿する」などの「カスハラ」案件の対応に現場は苦慮し、私の周辺にも類することが公立私立の関係なく耳にする。理不尽なクレームに対しては、前々から一人に対応しない、面談は30分まで、録音のこと、弁護士の同席等言われていることだが、文科省も学校現場を悩ます学校版カスハラ指針を出すとのことだ。本来パートナーであるべき保護者なのに、なぜ保護者対応が難しい時代になったのか——今夏大阪大会での鈴木大裕さんが講演の中で指摘していたことを思い出す。（詳しくは「崩壊する日本の公教育」鈴木大裕 集英社新書2024）その講演や著書の中で「教員はサービス業」という新自由主義的な世界観の広がりを見出す。社会のあらゆる活動や関係を経済的な価値観でのみ分析しようとする偏った世界観。教育を付加価値的な投資と見なし、生徒・保護者を学費や納税で教育という商品を購入する「お客様」、教員を教育という「サービス」を提供するサービス労働者、教育委員会をクレームを受けつけるカスタマーサービスととらえる認識の広がり。学力テストの点数・順位——数値を絶対的な尺度とする成果主義、教育内容もテスト対応へと変化する昨今の学校の風景。新自由主義的学校は、学習スタンダードと生徒指導におけるゼロトレランスと親和性が高いのは言うまでもない。公教育の市場化（新自由主義）＝学力テスト体制が支配する学校は子どもたちにとっては息苦しい場所となる。問題行動を起こす子、点数の稼げない子、障害を抱える子たちは「商品管理」の名のもと切り捨てられる。暴力行為・不登校の高い割合はそのことの表れであろう。新自由主義と教育

をめぐる問題の本質を、同書で鈴木さんは「お客様を教育しなければならないというジレンマ」と章を立てて論じている。



講談社 2006



偕成社 2026



崩壊する日本の公教育

鈴木大裕
Suzuki Daiyu



集英社 2024

2026 明星学園公開研究会

★テーマ 子どもが“動き出す” “考えはじめる”授業づくり

★11月21日(土)8:45～16:30 受付開始 8:00

★公開授業 算数 社会 体育 美術・木工

1校時 8:50～9:35 「かけ算」他

2校時 9:50～10:35 「分数のかけ算」他

★全体会 講演:内田伸子さん(環太平洋大学教授 お茶の水女子大名誉教授 発達心

理学 認知科学 保育学 /NHK「おかあさんといっしょ」番組開発他 著書「発達
の心理」「想像力」他)

10:50～12:30(いちょうのホール)

★分科会 算数 社会 体育 美術・木工(今年は国語分科会はありません)

13:30～16:30

会場 明星学園小・中学校井の頭キャンパス 〒181-0001 三鷹市井の頭 5-7-7

アクセス 「吉祥寺」駅より井の頭公園を横切って徒歩 15 分

京王井の頭線「井の頭公園」駅より徒歩 10 分

※申し込み等の詳細は明星学園小学校 HP をご覧ください。